

2026年12月期第2四半期 決算説明会



静岡ガス株式会社

TSE:9543

2026年8月7日

I . 第2四半期決算の概要	…	2
II . 中期経営計画の取り組み状況	…	9

注意

- 本情報は、2026年8月7日現在の将来に関する前提、見通し、計画に基づく予測が含まれています。
- 経済・競合状況等にかかわるリスクや不確定要因により、実際の業績が記載の予測と大幅に異なる可能性があります。

I. 第2四半期決算の概要

II. 中期経営計画の取り組み状況

第2四半期決算のポイント

◎ 第2四半期決算：減収増益

	2025年2Q 実績	2026年2Q 実績	増減	前期比(%)
都市ガス 販売量 (百万m ³ ,45MJ)	798	805	+7	100.9
売上高 (億円)	1,036	1,030	△5	99.4
補正後 経常利益 (億円)	87	131	+43	149.7
補正前 経常利益 (億円)	93	98	+5	106.2
補正項目 (※) (億円)	+5	△ 32	△37	—
補正前 当期純利益 (億円)	67	65	△1	97.2

(※) 補正項目 : スライドタイムラグ + 為替差損益 (匿名組合投資分)

	2025年12月期 実績	2026年12月期 予想
年間配当金 (円/株)	43	45
DOE (%)	2.60	2.63
配当性向 (%)	32.2	37.2

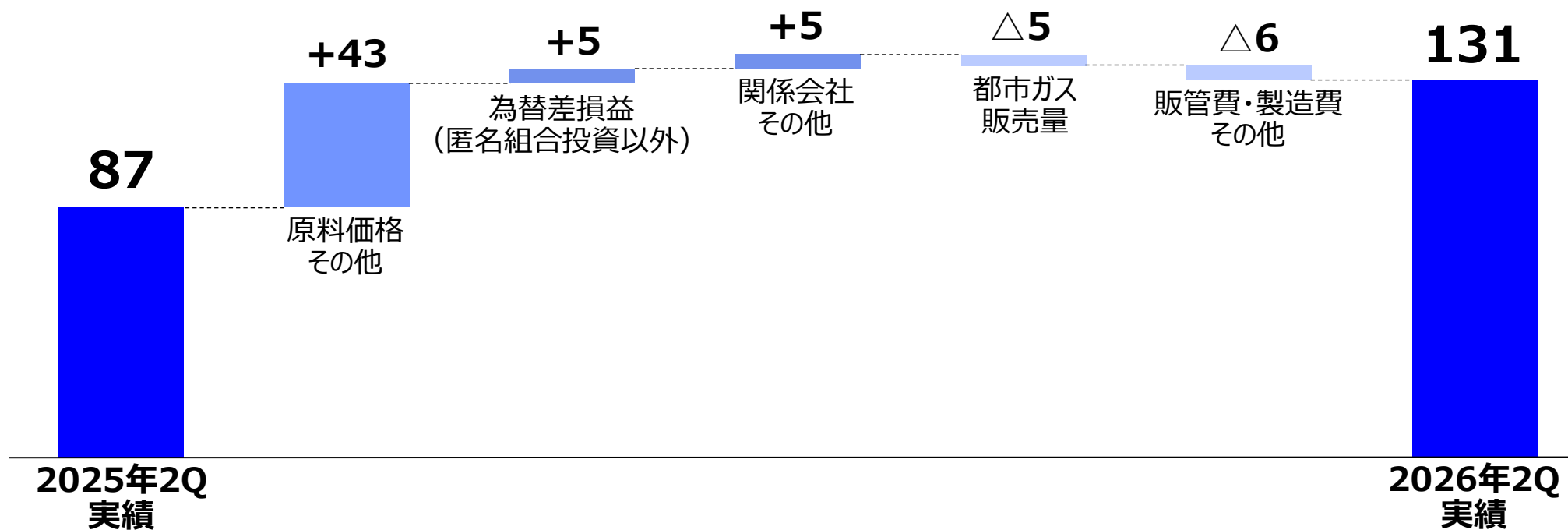
販売量・使用中戸数

	2025年2Q 実績	2026年2Q 実績	増減	前期比(%)
都市ガス 販売量 (百万m ³ ,45MJ)	798	805	+7	100.9
直売 大口	430	434	+4	101.0
小口	95	90	△4	95.3
卸売	274	281	+7	102.7
LPG 販売量 (千t)	31	31	+0	100.8
電力 販売量 (百万kWh)	272	313	+41	115.1
都市ガス 使用中戸数 (千戸)	326	326	+0	100.1
LPG 使用中戸数 (千戸)	83	85	+2	101.9
電力 使用中戸数 (千戸)	101	107	+5	105.2

経常利益の分析（対2025年2Q実績）

単位：億円
*億円未満切捨て

	2025年2Q実績	2026年2Q実績	増減
補正後 経常利益	87	131	+43
補正前 経常利益	93	98	+5
スライドタイムラグ	+10	△39	△49
為替差損益 (匿名組合投資分)	△4	+7	+11



キャッシュアロケーション（2026年2Q実績）

キャッシュイン

営業CF・その他
(120億円)

基盤事業からの
安定的なCFの創出

営業利益率の向上および、
運転資金の削減・効率化の推進

キャッシュアウト

株主還元
(20億円)

「累進的配当」および、
「配当性向3割」の実行

借入金返済
(10億円)

成長投資
(50億円)

- ・ 海外事業
：シェールガス開発事業での
新規井戸掘削
- ・ 電力・再エネ事業
：ガスエンジン増設、系統用
蓄電池・PV設備など
- ・ 暮らしサービス事業
：共同開発、共和不動産の
株式取得など

レジリエンス投資等
(30億円)

都市ガス事業（導管など）
への投資、関係会社（吉田ガス）
の株式取得など

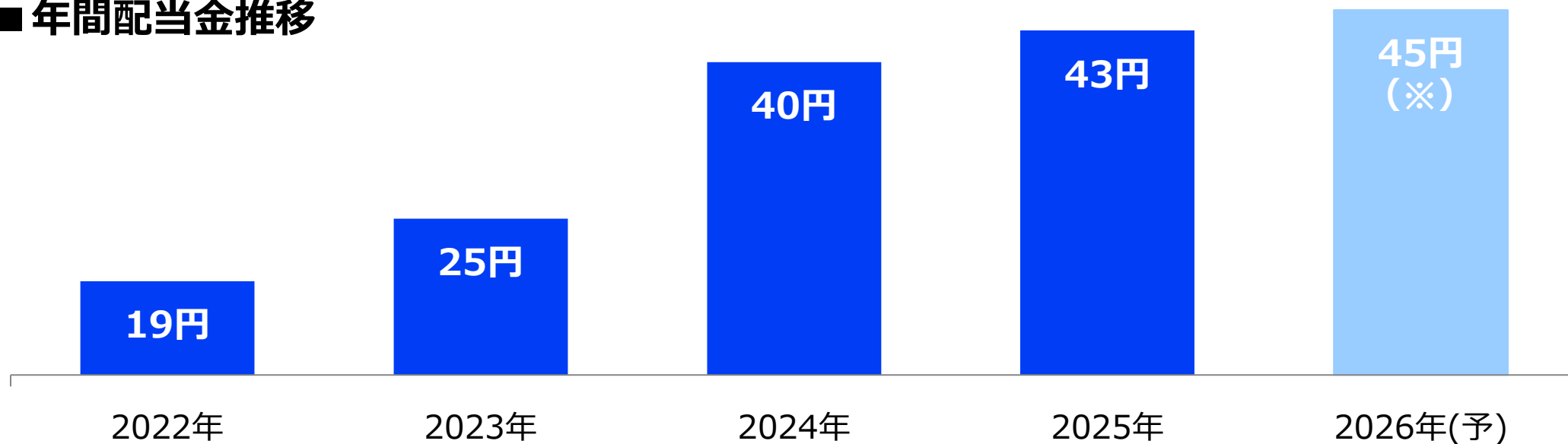
◎ 2026年の年間見通し：年初計画から変更なし

2026年計画（売上高・利益）		
売上高	（億円）	2,011
補正前 経常利益	（億円）	104
補正前 当期純利益	（億円）	91

2026年計画（販売量）		
都市ガス 販売量	（百万m ³ , 45MJ）	1,568
	直売 大口	865
	小口	169
	卸売	534
LPG 販売量	（千t）	56
電力 販売量	（百万kWh）	588

配当方針	➤ 累進的配当 ➤ 株主資本配当率（DOE） '25年 2.60% → '26年（予） 2.63% ➤ 配当性向3割（目標水準） '25年 32.2% → '26年（予） 37.2%
中間配当金	22.0円／株
期末配当金	23.0円／株（予）（※）

■ 年間配当金推移



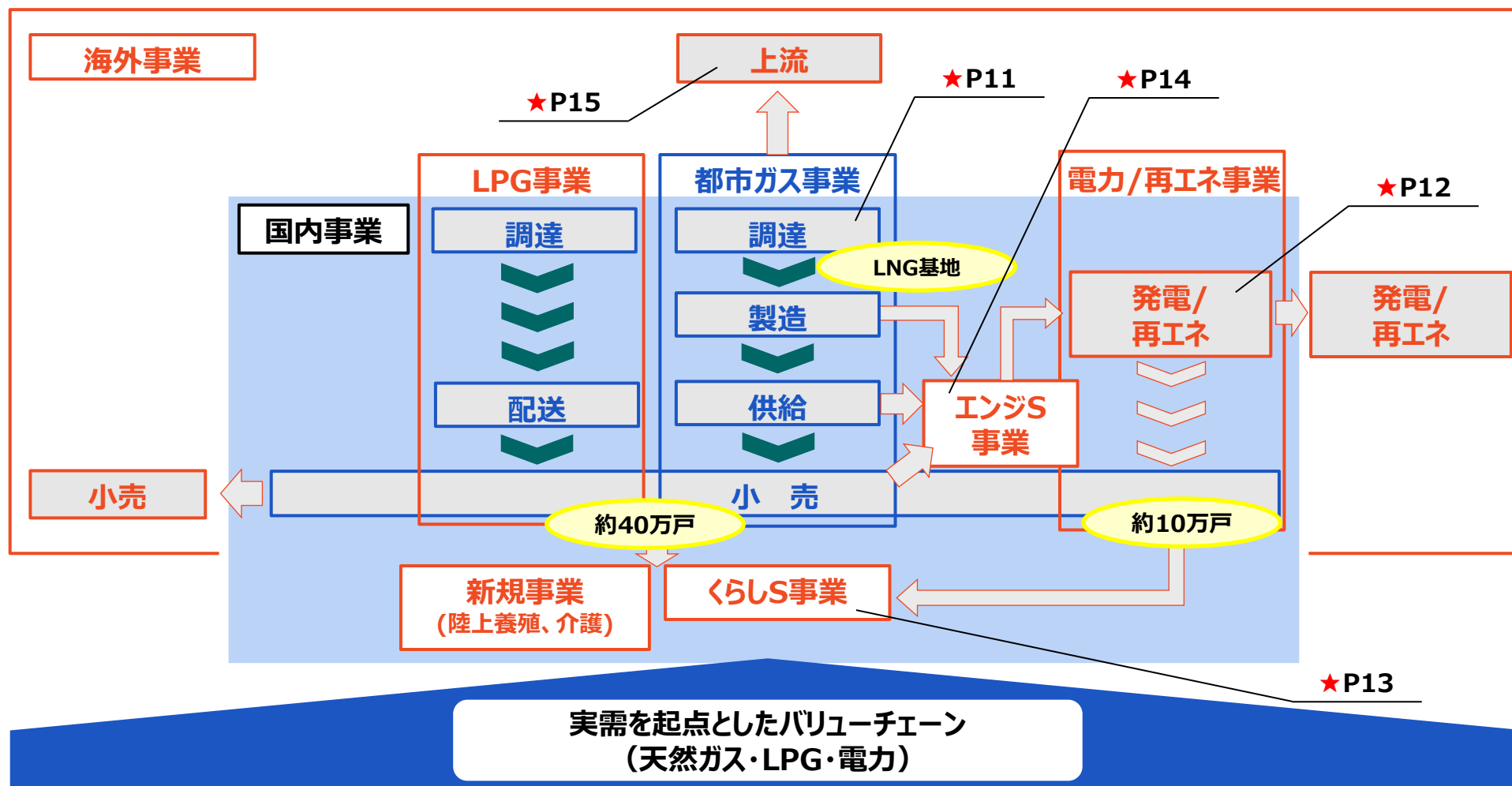
（※）直近に公表している配当予想（44円）から1円増配

I. 第2四半期決算の概要

II. 中期経営計画の取り組み状況

都市ガス・LPG事業を中心に培った当社グループの強みを活かし、事業領域を拡大

- 当社グループの強みは、実需を起点としたバリューチェーン（天然ガス・LPG・電力）を有すること。これを活かし、
 - バリューチェーンの上流・下流を国内外含め拡大するとともに、その価値を最適化する。
 - 実需を基盤として、くらしサービス・エンジニアリングサービス事業を拡大する。



LNG調達力の強化／安定供給性の向上

- 2026年5月に東京ガス株式会社と、同年7月にPETRONAS LNG Ltd.とLNG売買契約を締結した。
- 両社のグローバルなLNGポートフォリオを活用し、調達ソースの多様化を進めることで、LNG調達力の強化と安定供給性の向上を図る。

東京ガスとのLNG売買契約



売主	東京ガス株式会社
買主	静岡ガス株式会社
契約締結日	2026年5月7日
契約内容・供給源	東京ガスが契約するLNGプロジェクトから供給
契約期間	2027年から開始（中長期契約）
契約数量	年間5カーゴ（※1）
引渡条件	DES（仕向地到着渡し）（※2）

（※1） LNG取引における船舶1隻の積卸し単位。1カーゴあたり6-7万トン相当。

（※2） 売主が輸送船を手配し、揚地まで輸送すること。

PETRONAS LNG Ltd.とのLNG売買契約



売主	PETRONAS LNG Ltd.
買主	静岡ガス株式会社
契約締結日	2026年7月9日
契約内容・供給源	供給源を特定しないポートフォリオ契約
契約期間	2032年度～2038年度（7年間）
契約数量	約84万トン
引渡条件	DES（仕向地到着渡し）（※）

（※） 売主が輸送船を手配し、揚地まで輸送すること。

自社調整力のさらなる強化／再生可能エネルギーの普及拡大

- 静岡県浜松市において、高圧系統用蓄電池事業に参入することを意思決定した。2028年4月の運転開始を予定する。
- 2024年に意思決定した特別高圧系統用蓄電池に続き、本件は当社グループ初となる高圧系統用蓄電池の導入である。今後も、電力事業における自社調整力のさらなる強化と、再生可能エネルギーの普及拡大への貢献を目指す。

高圧系統用蓄電所の概要



高圧系統用蓄電所 パース図

設置場所	静岡県浜松市中央区有玉西
蓄電池種別	リチウムイオン電池
出力	1,999kW
容量	8,584kWh
運転開始時期	2028年4月（予定）

特別高圧系統用蓄電所の建設進捗



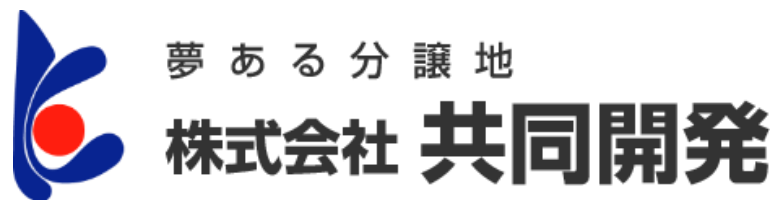
2026年6月、蓄電池コンテナの搬入作業を実施

設置場所	静岡県静岡市駿河区池田28 （静岡ガス静岡支社構内）
蓄電池種別	リチウムイオン電池
出力	13,000kW
容量	46,900kWh
運転開始時期	2027年度中（予定）

ハウジング分野のさらなる拡大

- 2026年2月、株式会社共同開発および株式会社共和不動産の全株式を取得した。
- 今回グループ入りした2社の強みと事業基盤を活かし、グループ内の事業連携を強化することで、土地販売から新築、リフォームまで住まいに関するサービスをワンストップで提供する。これにより、お客さまの多様なニーズに応えるとともに、ハウジング分野のさらなる成長を目指す。

共同開発の全株式を取得



会社名	株式会社共同開発
設立	1985年9月
事業内容	宅地分譲地販売、土地・建物仲介、賃貸物件の管理
主な事業エリア	静岡県東部
売上高	約12億円（※）

（※）2023～2025年の平均値

共和不動産の全株式を取得



会社名	株式会社共和不動産
設立	1989年4月
事業内容	宅地分譲地販売、不動産賃貸業
主な事業エリア	静岡県西部
売上高	約20億円（※）

（※）2023～2025年の平均値

エンジニアリングサービス事業のさらなる拡大

- 2026年4月、スマートブルー株式会社への追加出資を行い、出資比率を51%に引き上げ連結子会社化した。エンジニアリングサービス事業の拡大と、再エネ電源開発における企画・設計・施工・運営・メンテナンスまでを一貫して推進可能な体制を強化する。
- 2026年7月、株式会社暁電工の全株式を取得した。お客さまのユーティリティ設備を総合的に支援する「トータルエンジニアリング」体制の構築を進め、さらなるエンジニアリングサービス事業の拡大を目指す。

スマートブルーへの追加出資および連結子会社化



会社名	スマートブルー株式会社
設立	2010年3月
事業内容	再生可能エネルギー事業、発電所運営事業、農地コンサルティング事業
再エネ電源 施工案件数	約670件（※）
再エネ電源開発容量	約6.8万kW（※）

（※）設立から2026年4月までの累計実績

暁電工の全株式を取得



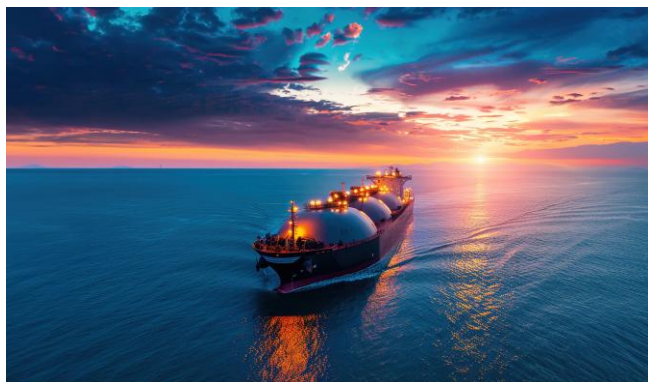
～ おもいやりを創造へ ～

会社名	株式会社暁電工
設立	1976年7月
事業内容	電気工事業、防災装置設計・製作業
会社概要・特徴	静岡県西部・中部地区を中心に公共工事から民間工事まで幅広く手掛ける。地域に根差した事業活動を展開し、安定した取引基盤と高い信頼、設計・施工・管理を一貫して自社で対応できる技術力を強みとしている。

MidOcean Energyへの出資参画による、天然ガスバリューチェーンの拡大

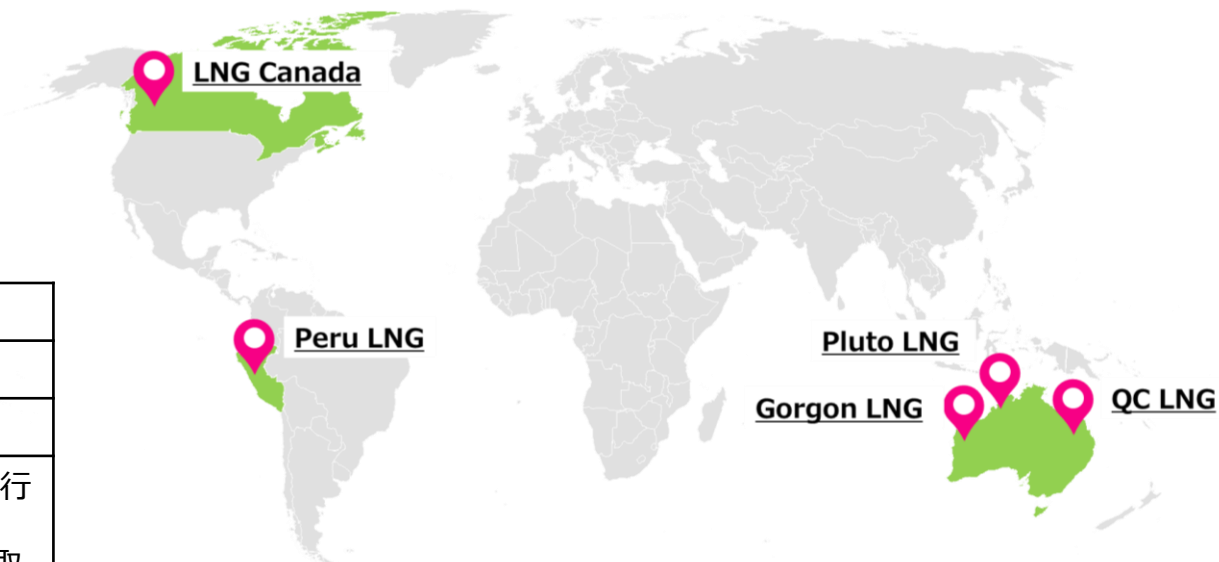
- 2026年2月、米国の機関投資会社であるEIG が設立・運営する、LNG 事業会社 MidOcean Energy（以下、MOE）へ、EIG が運営するファンドを通じて出資し、MOE と戦略的パートナーシップを構築した。
- エネルギー事業を通じて培った事業基盤に、MOE との戦略的パートナーシップに基づく取り組みを掛け合わせることで、当社グループの天然ガス・LNG 事業の上流から下流に至るバリューチェーンを国内外で拡大し、安定性と収益性が両立する事業ポートフォリオの確立を目指す。

MOEへの出資参画、戦略的パートナーシップの構築



会社名	MidOcean Energy
本社所在地	英国ロンドン
設立	2023年
会社概要 事業内容	LNGバリューチェーンを投資対象として、事業運営を行う会社。 上流ガス田の開発から液化、販売、輸送、最適化取引に至るまで、LNGバリューチェーン全体を一体的に構築し、オーストラリア、カナダ、ペルーなどに所在するLNGプロジェクト権益ポートフォリオを保有している。

MOEのLNGプロジェクト権益所在地



主体的に挑戦する意識を持つ人づくり／事業変革に対応する人材ポートフォリオの構築

● 採用

- プロフェッショナル人材採用・キャリア総合職採用の推進・加速
2025年実績 キャリア採用：67名（新卒採用：45名）
2026年見通し キャリア採用：78名（新卒採用：39名）

● 配置転換

- 機動的なジョブローテーションによる経験・視点の多様化
- グループ内人事交流、社内公募制度の拡大

● 教育・研修

- 階層別・年代別研修・越境型研修の拡大
- リスキング施策の強化・推進

● 働き方・処遇

- 女性活躍に向けた環境整備
- 社員の健康づくりの促進（健康経営優良法人2026（ホワイト500）を取得）

「多様性を持つボトムアップ型組織」の構築

● 1on1

- 週1回のブリーフィングおよび月1回のメンバーの成長を支援するための対話を実施
→ マネジメント能力の向上、コンディションの可視化、部下の成長支援、信頼関係の強化

● タウンホールミーティング

- 経営層（社長・役員など）が社員に向けて会社の方向性や戦略を共有し、双方向の対話を実施
→ 経営層と社員間のコミュニケーション深化、部門間の相互理解と連携強化

● ジョブローテーション

- 本部間・会社間を跨ぐ異動を積極的に実施
→ 人材の多能工化と組織の柔軟性向上、人事交流による社内ネットワークの深化

● エンゲージメント調査

- 月1回の調査を実施することでメンバーの状態変化を把握し、課題発見や解決につなげる
→ 組織課題の特定、マネジメントの改善点を把握、組織文化の課題明確化、施策の優先順位づけ

● キャリア面談

- 社員の「将来どうなりたいか」を深掘りし、その実現に向けて 会社・上司がどう支援するかについて対話
→ キャリアの方向性の明確化、会社の戦略と本人のキャリアをつなげる

地域づくり／環境・安心安全／文化・スポーツの3つの柱で、地域社会との共創を推進

- 地域づくり：地域のみなさまと連携してさまざまな地域課題の解決に取り組み、住みよいまちづくりを目指す。
- 環境・安心安全：環境や自然のふしぎを伝えるプログラムや、くらしの安全・安心を守る活動を進める。
- 文化・スポーツ：健全な心と体を育む文化・スポーツの普及を通して、コミュニケーションの推進に取り組む。

中学生の職業体験を受け入れ



地域の清掃活動



障がいや病の子どもたちに 芸術を届けるプロジェクト



「こどもの居場所」応援活動／ こども食堂へ防災備蓄用食料品を寄贈



交通安全啓発活動



清水エスパルスマッチデー 「静岡ガス&エネリアデー2026」開催



湧く想い、沸かせる未来。

SHIZGAS

静岡ガスグループ